この度、9 月 30 日に山形で開催されました第 267 回日本泌尿器科学会東北地方会にて、演題「」を発表し、優秀演題賞を受賞しました。腎癌に対しニボルマブ・カボザンチニブ術前投与により病理学的完全奏功を報告した症例は、これまでないかと思われます。貴重な症例を勉強させていただいたとともに、小原教授、五十嵐先生、高橋先生をはじめ多くの先生方の支えがあった今回の発表を受賞というかたちで結果を示せたことに大変嬉しく思います。また、今回は後藤先生も優秀演題賞に輝き、岩手医科大学として優秀演題ダブル受賞という最高のかたちで締めくくることができました。遠い勤務先から大学まで足を運び、準備を進める後藤先生の姿も見ており、尊敬の念しかありません。知識も含めてまだまだ至らぬ点ばかりですので、今回の結果に過信せず、ひとつの自信として今後とも診療に努めていきたいと思います。小原教授含めご指導いただきました当講座医局員の先生方、誠にありがとうございました。